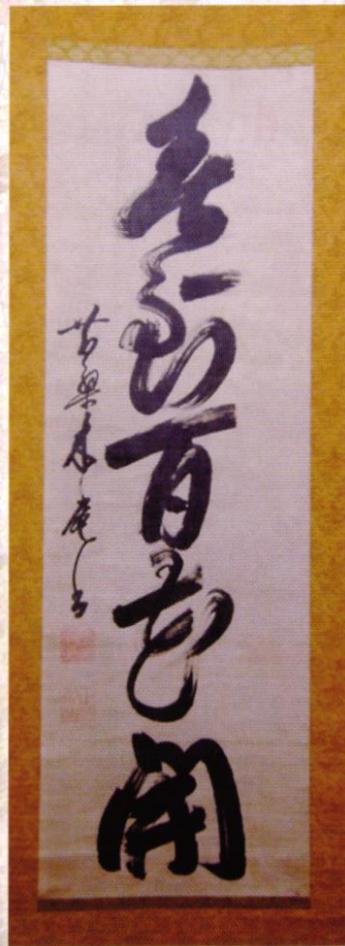




金澤北ロータリークラブ



春に百花開一はるにいたって ひゃっか ひらく
木庵 性瑠禅師 (もくあんしょうとう ぜんじ)

生没年：1611-1684 宗派：黄檗宗
寺院：黄檗宗 萬福寺2世 江戸端聖寺 長崎福濟寺 紫雲亭

もともとこの一句は「百花春到為誰開一ひゃっか はるにいたってたがために ひらく」という方が普通である。
花は誰のために咲く等という事を全く意識せず、おのずとその時が来れば一寸のくもなくあたりまえのように蕾を開き、香りが私達を楽しませてくれている。そしてその自然のあり方、ふる舞いが人の心を豊かにし、世の中を平和にするのである。

「恥の文化」

渡邊 聡

昭和50年代に日本のある団体が東南アジアへ売春旅行をして週刊誌や新聞紙上に「日本の恥」として賑わしたことを覚えておられる方も多いと思う。

先日、信用情報に「恥を知れ、恥を」の文が掲載されており、20数年前を思い出した。そこで、その文に絡めて、当時「恥」について思考したことを纏めてみた。

「昭和21年、米政府から戦後日本の占領政策の参考に資するためのレポートを求められた米国の女性文化人類学者・ルース・ベネディクトさんは、その著書「菊と刀」の中で欧米の文化を「罪の文化」とするならば、日本は「恥の文化」の国であると書いている。

それは、して良い事と悪い事の道徳的な判断基準を、欧米では、個人の心の内にある「神」が示す宗教的戒律に照らして考えるのに対し、日本では「他人に迷惑を掛けるのは恥じだ」という、他律的な考え方に置いていると分析した」（信用情報掲載より抜粋）

日本人は農耕・海洋漁業民族であり、自然を敬い順応し、逆らうことなく共存し、自然の恵みを受けて生存してきた。一方、欧米人は狩猟民族であり、神から与えられた試練と恵みの中で生存してきた。一見、似かよってはいるが大きな違いがある。

それは、自然を恐れ敬い自然に順応する心と神の戒律に絶対服従するという心の違いである。日本の文化は、欧米のような「神による戒律の文化」ではない。日本では太陽や土地や水などの自然が「神」であり、そこに育ったもの全てが神から与えられた恵みであり、自然に順応し感謝することが神に感謝する事と同じことであり、自然の営みそのものが戒律なのである。また、日本の精神文化は儒教と仏教に強く影響されている。自然を崇める心にそれらを取り込んで日本独特の道徳文化が出来上がっていったものと思う。

自分の心に恥じるという自律的良心は、「全ての物に魂が有り、その魂は肉体に宿るという唯物論的一体感の魂のなかで判断する善悪を仏心（ほとけごころ）」とする考え方が熟成されていったものと考えられる。したがって「お天道様が見ている」という自制心が作動する。

また、自律的な要素と他律的な要素でのバランス感覚は、相手に非があった時には相手に死を、自分に非があったときには、切腹して（死んで）償うという凄まじい形にまで変化したのではないだろうか？

例としては適切ではなかったかも知れないが、礼儀や礼節を欠くことは「恥」であり、「恥」と思う心の判断基準が自制心や自尊心、誇りといった自律的、他律的な要素となって自分自身に自戒を科しているのだ。また、それを相手にも求めているのである。私は、この「恥の文化」を誇りに思う。残念ながら、近年は「恥」という心を忘れがちではないだろうか？

2006 - 2007 年度のための 地区協議会 プログラム

2006年4月23日(日) 於: 高岡法科大学
司会 澤谷 高行 (高岡西)

全体会議 [会場: 体育館 (厚生棟 2階)]

開会点鐘

国歌斉唱 君が代

ロータリーソング 奉仕の理想

開会の言葉

ガバナー挨拶

特別出席者紹介

ガバナー・エレクト所信表明

報告事項

地区協議会の目的

次期地区大会のご案内

諸事お知らせ (部会会場に移動)

昼 食

部会会議開始

(1) 会長・幹事・会計部会

(2) クラブ奉仕、新会員

(3) 会員増強部会

(4) 職業奉仕部会

(5) 社会奉仕、新世代部会

(6) 国際奉仕部会

(7) ロータリー財団、米山記念奨学会部会

部会会議終了

全体会議再開 [会場: 体育館(厚生棟 2階)]

ガバナー所感

ガバナーのラペルボタン伝達

次期地区協議会ホストクラブ紹介

次期地区協議会ホストクラブ代表挨拶

ガバナー・エレクト挨拶

ロータリーソング「手に手つないで」

閉会の言葉

閉会点鐘

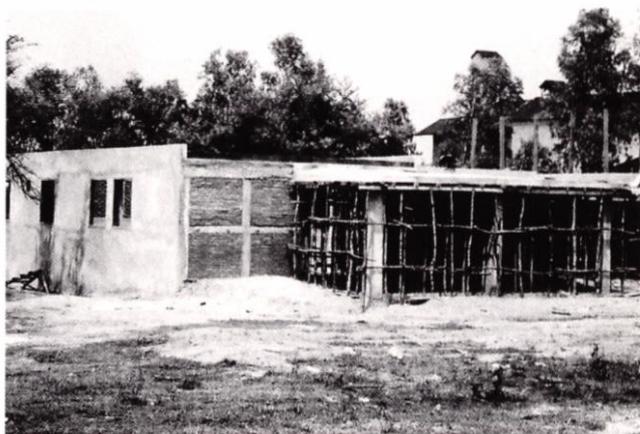
参加者

米澤眞二 松田忠秋 勝田浩之 米澤修一
桜田鉄次 乙村舜吉 長谷川塑人 小間井
宏尚 小泉幸雄 中村實博 高畠菊丸
澤田光夫 汐井俊彦 飯田安彦 本多弘夫

国際奉仕委員会報告

委員長 澤田 光夫

2610地区2005～2006年度の国際委員会事業であるラオスのコミュニティーラーニングセンター建設資金(地区全体で300万円)として、当クラブも会員諸氏に「書き損じはがき」の協力をお願いしました。皆様の協力にて2211枚、(会員803枚、その他1408枚)、全額にして100,828円(平成18年4月30日現在)と当初の目標を大幅に上回る資金を得る事が出来ました。会報の紙面をお借りして一年間の協力御礼と報告をさせていただきます。多数の皆様のご協力有難うございました。



コミュニティーラーニングセンター建設中

第1579回例会

4月27日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

星陵女子短期大学 助教授 沢野伸浩氏
「環境に優しい“地産・地消”」



2. 出欠

出席 38名 欠席 29名
出席率 56.71% ビジター 9名

3. 来訪者(敬称略)

金 沢RC 蚊谷八郎 藤田士郎
金沢西RC 作田昭七 太田政宏 戸水義雄
金沢南RC 浜上 満 山本 茂 新保弾次
香林坊RC 村田秀彦

ニコニコボックス

高島君、勝田君
講師に沢野伸浩様をお迎えして。本日は宜しく
お願い致します。

木村(功)君 講師に沢野先生をお迎えして。スローフ
ード金沢のNPO設立総会を盛況の内に無事終
えることが出来ました。有難うございました。

木下君 この度、宮崎会長の後を受けて、金沢市サッカ
ー協会会長になりました。今後とも宜しくお願
いします。

合計 8,000円 (累計 608,000円)

- 5日 深山 彬
- 6日 米澤修一
- 13日 坪田良三
- 19日 内堀 茂
- 23日 竹中健次

ニコニコボックス

高島君、勝田君
二塚先生には、紫綬褒章授章、おめでとうござ
います。今後益々のご活躍をお祈りします。澤
田先生、本日は宜しくお願い致します。

澤田君 本日は貴重な時間を頂き、お話をさせていた
だきます。会員の皆様、宜しくお祈りします。また、
二塚会員授章おめでとうございます。

川面君 澤田先生、本日は宜しくお祈りします。誕生日
にきれいなお花を有難うございました。

乙村君 二塚先生、紫綬褒章授章お慶び申し上げます。

俵 君 5月3日、何回目の誕生日か忘れました。

越田君 誕生日です。

合計 11,000円 (累計 619,000円)

理 事 会 報 告

5月11日(木) 出席者 14名

◆審議事項

①新会員の件 長谷川印刷(株)社長 南 友裕氏

②二塚会員叙勲の件
クラブ規定により 5万円のお祝い金
6月9日(金)に松魚亭にて祝賀会開催

③その他
輪島RCより、進行性骨筋炎(FOP)の女性の難病
認可のための請願書(署名)活動の協力依頼あり。例
会場にて回覧。

◆その他

・親睦旅行の件 出欠状況の確認

第1580回例会

5月11日(木) 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

会員 澤田光夫君
「あなたはどこまで金沢通？」

2. 出欠

出席 43名 欠席 24名
出席率 64.18% ビジター 9名

3. 来訪者(敬称略)

金 沢RC 藤田士郎 佐野由於
金沢東RC 中西弘信
金沢西RC 辻 卓 坂井美紀夫 和田英夫 古谷謙明
金沢南RC 神谷昌利 林隆信

4. 幹事報告

・輪島RCより「進行性骨筋炎(FOP)」の難病指定を求
める請願書署名のお願いあり、例会場で回覧いたします。

5. 皆出席顕彰(敬称略)

2カ年 佐賀 務

6. お誕生日祝い(敬称略)

6日 越田和好、銭亀賢治
15日 橋本和雄
18日 木村功一
22日 佃 一成
23日 松本範夫
31日 森 大

7. ご結婚記念日祝い(敬称略)

2日 磯野洋明
3日 俵外代吉

第83回ゴルフコンペ成績

平成18年5月13日(土) GC金沢リンクス

	O	I	G	H	N
優勝	安宅雅夫	39	39	78	3 75
準優勝	佃 一成	46	49	95	13 82
第3位	上田宏暢	51	53	104	22 82
第4位	水巻啓光	44	44	88	6 82
第5位	大沢久廣	49	48	97	15 82
B B	越田和好				
ベスグロ	安宅				
ニアピン	安宅、川面、小泉				

講 話 予 定

5月25日(木)

演題：生きる力を支える心と体

講師 大森重宜氏 星陵女子短期大学教授

6月1日(木)

会員 米澤修一君



会 長：高島 菊丸 S A A：吉井 清
 会長エレクト：米澤 真二 会 計：濱井 弘利
 副 会 長：小間井宏尚 広報委員長：中村 芳明
 幹 事：勝田 浩之 会 員 数：68名
 副 幹 事：松田 忠秋 クラブ設立：昭和48年10月3日

例 会 日：木曜日 12:30~13:30
 例 会 場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
 TEL<076>252-2271 FAX252-2273
 事 務 局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
 TEL<076>222-2525 FAX224-2882
 E-mail:k-kitarc@aquahokuriku.ne.jp